

7-5 桐ヶ丘中学校SFブロック

1 適正配置検討対象校

- ・桐ヶ丘郷小学校
- ・袋小学校
- ・八幡小学校
- ・赤羽台西小学校

2 地域の状況

本ブロックは、赤羽駅の西側に位置し、東西に約1.5km、南北に約2.0kmの通学区域となっています。ブロック内にバランスよく4校が設置されています。地形上の特色として、ブロック中央から南西側が高台となっており、北側及び東側との間に高低差があります。

幹線道路などの状況は、通学区域内の北側に環状八号線、中央に補助157号線が通っています。

地域コミュニティとの関係では、北側が赤羽北地区町会自治会連合会、中央が桐ヶ丘地区自治会連合会、南側が赤羽西地区町会自治会連合会の区域となりますが、いずれの連合町会・自治会も区域内に複数の小学校が設置されています。

3 小学校数の検討

本ブロックの平成27年5月1日時点の総児童数（普通学級）は、1,303人となっており、ブロック内の4校のうち1校が、当面存続規模を下回る状況となっています。

ブロック全体の児童数は、都営桐ヶ丘団地やUR都市機構の赤羽台団地の建て替えなどにより平成37年度頃までは増加しますが、その後は減少に転じる見込みです。平成47年度においても現在の水準並みの1,290人程度と見込まれることから、本ブロックにおける小学校数は、3校としました。

4 適正配置計画

- (1) 本ブロックにおける小学校の数は、3校とする。
 (2) 小学校の配置及び通学区域の変更は、ブロック協議において検討する。

5 着手時期（協議期間）

Cグループ（平成28年度～平成30年度）

6 ブロックの現況

(1) 児童数の動向

単位：人（学級数）

小学校名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
桐ヶ丘郷小学校	495 (17)	488 (17)	493 (16)	477 (16)	463 (15)	470 (15)
袋小学校	434 (13)	476 (15)	479 (15)	470 (14)	487 (14)	499 (15)
八幡小学校	92 (6)	99 (6)	88 (6)	88 (6)	84 (6)	80 (6)
赤羽台西小学校	282 (11)	313 (11)	325 (11)	336 (11)	358 (12)	384 (13)
児童数計	1,303	1,376	1,385	1,371	1,392	1,433

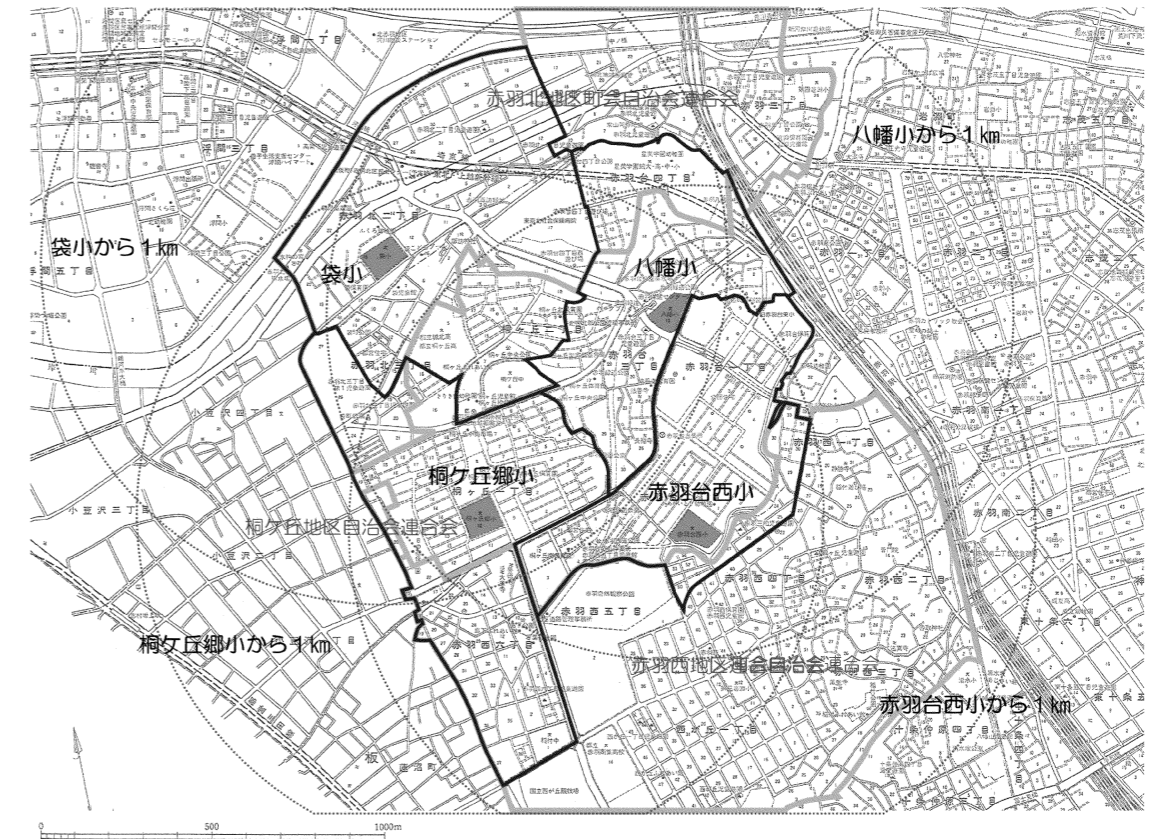
(2) 長期的な児童数の動向（ブロック全体）

平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度	平成47年度
1,303人	1,433人	1,570人程度	1,480人程度	1,290人程度

(3) 学校施設の状況

小学校名	校地面積 (㎡)	校地の所有者	校舎建設年度(※)	校舎改修年度	校舎耐震補強年度	校舎延べ床面積 (㎡)
桐ヶ丘郷小学校	10,141.92	区/国	昭和41年	平成4年	平成13年	5,486.89
袋小学校	9,735.09	区	昭和50年	平成14年	平成14年	4,248.52
八幡小学校	9,022.27	区	昭和42年	平成2年	平成21年	3,867.99
赤羽台西小学校	9,969.72	区/都市	昭和36年	昭和60年	平成12年	4,342.47

7 学校等現況図



7-6 十条富士見中学校SFブロック

1 適正配置検討対象校

- 王子第二小学校
- 王子第三小学校
- 王子第五小学校
- 荒川小学校
- 十条台小学校

2 地域の状況

本ブロックは王子駅と東十条駅との間の西側に位置し、東西に約2.1km、南北に約1.9kmの通学区域となっています。ブロックの中央を南北にJR埼京線が通っており、JR埼京線の東側に3校、西側に2校が設置されています。

幹線道路などの状況は、JR埼京線のほか、ブロック北側に環状七号線、東側に拡幅計画のある補助83号線（旧岩槻街道）、中央を横断する補助85号線が通っています。

地域コミュニティとの関係では、JR埼京線の西側が十条地区町会連合会、東側が十条台地区連合町会の区域となりますが、いずれの連合町会・自治会も区域内に複数の小学校が設置されています。

3 小学校数の検討

本ブロックの平成27年5月1日時点の総児童数（普通学級）は、1,010人となっています。

ブロック全体の児童数は、今後5年程度は現在の水準を維持し、平成37年度には1,240人程度まで増加しますが、その後は減少に転じる見込みです。ブロック内には当面存続規模の小学校が多く、5校がともに適正規模を確保することが難しい状況となっています。一方、十条駅西口地区市街地再開発事業などの開発計画があるため、本ブロックにおける小学校数は、3～4校としました。

4 適正配置計画

- (1) 本ブロックにおける小学校の数は、3～4校とする。
 (2) 小学校の配置及び通学区域の変更は、ブロック協議において小学校数とあわせて検討する。

5 着手時期（協議期間）

Cグループ（平成28年度～平成30年度）

6 ブロックの現況

(1) 児童数の動向

単位：人（学級数）

小学校名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
王子第二小学校	170 (6)	180 (8)	194 (8)	211 (7)	205 (7)	206 (6)
王子第三小学校	331 (12)	335 (12)	323 (12)	341 (12)	325 (12)	323 (12)
王子第五小学校	191 (7)	189 (7)	205 (8)	213 (8)	214 (8)	217 (8)
荒川小学校	148 (6)	150 (6)	151 (6)	154 (6)	160 (6)	166 (6)
十条台小学校	170 (6)	161 (6)	175 (7)	167 (7)	167 (6)	166 (6)
児童数計	1,010	1,015	1,048	1,086	1,071	1,078

(2) 長期的な児童数の動向（ブロック全体）

平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度	平成47年度
1,010人	1,078人	1,240人程度	1,120人程度	1,030人程度

(3) 学校施設の状況

小学校名	校地面積 (㎡)	校地の所有者	校舎建設年度(※)	校舎改修年度	校舎耐震補強年度	校舎延べ床面積 (㎡)
王子第二小学校	6,723.02	区/国/民間	昭和41年	平成元年	平成22年	4,424.24
王子第三小学校	7,522.31	区	昭和34年	昭和60年	平成13年	4,308.17
王子第五小学校	5,447.13	区/国	昭和40年	平成2年	平成24年(第二期)	3,853.87
荒川小学校	6,303.51	区/国/民間	昭和33年	昭和59年	平成23年	4,051.33
十条台小学校	7,924.80	区	昭和46年	平成6年	—	3,878.74

7 学校等現況図

